

○評価シート(榎原市まほろば大学校)

分野	項目	チェックポイント	チェック
計画・組織体制	計画	組織全体の事業計画等に、人材認証制度が位置付けられている。	○
		認証者の具体的な活動範囲・活動の場を計画時から想定している。	
		どのような人材を認証するかという人材認証制度の目的が明確である。(育成すべき人材像が明確である。)	
	組織体制	方向性を決定する委員会には、様々な組織の関係者が参画している。	○
方向性を決定する委員会に、活動の場・団体のメンバーが参画している。			
委員会や運営メンバー等に、現場のニーズ等を適切に反映できるプログラム作成の専門家等が参画している。			
養成プログラム	プログラム作成	講座の講義やフィールドワークの時間は、認証を受けるのに相応しい知識・技能等が習得できるのに十分な時間が確保されている。	○
		プログラム作成等に活動の場・団体の意見が反映されている。	
		コミュニケーション力や意欲等の向上に資する養成プログラムが用意されている。	
		活動の場・団体等へのフィールドワーク、インターンシップ等が実施されている。	
		フィールドワーク等における安全管理体制が適切に定められている。	
	プログラムに、受講者間の交流促進や受講者間の集団作り促進等の仕掛けが行われている。		
	プログラムの見直し	内容や手段、認定基準等の見直しを一定期間ごとに行うなどの取組を、継続的に実施する体制となっている。	○
受講者アンケート等を実施し、その結果を養成プログラムの見直しに活用している。			
スキルアップ講座	活動の場に対してアンケート等のニーズ把握を行い、その結果を養成プログラムの見直しに活用している。		
認証事業の運営	周知・募集活動	認証後も、認証者がスキルアップを行うことができるような研修等を実施している。	
		募集の際に、受講対象とする人物像等を適切に設定し、示している。	○
		講座の開講期間・開講時間が想定する受講者を踏まえて適切に設定されている。	
		制度の対象範囲に即した範囲と方法(ネットやチラシ等)で広報を行っている。	
	認証制度に関するPR活動を行っている		
運営体制・活動	認証事業(養成、マッチング等)の運営に適切な人員を配置している。	○	
	活動の場での実践者や認証者など、養成プログラムにふさわしい講師を、発掘し活用している。		
活動の場・団体の保障	活動の場・団体の紹介	活動の場の開拓を定期的に行っている。	
		認証者に対して活動の場の情報が提供されている。	
		認証者の活動の場と定期的な意見交換を行っている。	
		活動の場から認証者に求めるレベルや知識・能力を把握している。	
		活動の場が必要とする分野や人数を把握している。	
		認証者を活動の場・団体に紹介・斡旋するマッチング事業を実施している(主体:認証組織/認証者団体)	
		活動の場・団体に対応する組織的な窓口が設置されている(主体:認証組織/認証者団体)	
		受講者が獲得した又は保持している知識・技能の内容が一見して判断し得るための工夫がある。	
	認証者団体の活動支援	活動を促進するような認証者団体が組織されている(組織するように認証者に促している)。	
		認証者団体との定期的な交流を実施している。	
		認証者の集まる場所を提供している	
		認証者や認証者団体の活動成果の発表機会を提供している	
		その他、認証者団体に対する支援(認証者団体への参加者を増やす交流会等)を行っている。	
		認証者団体との共同事業等を実施している。あるいは、認証者団体の活躍の場となるような事業を実施している。	